



図1. 兵庫県で記録されているコバネガ科. a. ジャゴケ群落で静止するニッポンヒロコバネ. b. 静止するムモンコバネ

できる可能性がある.

阪上洗多氏(神戸大学)には採集したコバネガの同定をしていただいた. また, 杉浦真治氏(神戸大学)には原稿の校閲をしていただいた. お礼を申し上げる.

○参考文献

- Hashimoto, S., 2006. A taxonomic study of the family Micropterigidae (Lepidoptera, Micropterigoidea) of Japan, with the phylogenetic relationships among the Northern Hemisphere genera. Bull. Kitakyushu Mus. Nat. Hist. Hum., Ser. A, 4: 29-109.
- 橋本里志, 2011. コバネガ上科 MICROPTERIGOIDEA. (駒井古実, 吉安裕, 那須義次, 斎藤寿久 編) 日本の鱗翅類一系統と多様性, 66-69. 東海大学出版会
- 橋本里志, 2013. コバネガ科. (広渡俊哉, 那須義次, 坂巻祥孝, 岸田泰則 編) 日本産蛾類標準図鑑 III, 68-74. 学研
- 今田弓女, 2015. 日本列島のコバネガの食草利用の進化和分布形成. 昆虫と自然, 50(14): 14-18.
- 阪上洗多, 2015. ニッポンヒロコバネを兵庫県下で採集. きべりはむし, 37(2): 68.
- 吉富博之・林成多・橋本里志, 2016. 中国地方のコバネガ科. ホシザキグリーン財団研究報告, (19): 221-227.

(Daichi FUNAMOTO 神戸大学農学研究科)

兵庫県からのエゾベニシタバの初記録

徳平 拓朗

兵庫県においてエゾベニシタバ *Catocala nupta* (Linnaeus, 1767) が初めて記録されたので報告する.



1ex., 兵庫県美方郡香美町大笹 ハチ北高原, Alt. 885m, 24. VIII. 2016, 八木 剛, 灯火採集

本種は北海道, 本州, 四国に分布し, 中部地方以東の山岳地帯の各所で見られるが, 近畿地方以西では散発的な記録しかない(岸田, 2010). 兵庫県の近隣では岡山県において記録されているが, 1984年以降の記録はない(岡山県, 2009). 高島(2004)では兵庫県において今後記録される可能性のある種のひとつとして本種が挙げられており, 兵庫県内での採集記録はこれまで知られていなかった.

本個体は, 人と自然の博物館の中学生向けセミナー「ユース昆虫研究室」において行ったライトトラップで得られたもので, セミナー参加者の徳永 賢士朗君が幕に飛来した本個体を発見したが採集時に逃げられ見失い, 最終的に様子を見に来られた八木氏の毒ビンに収まるところとなったものである. セミナーにおいてライトトラップは同じ場所で3夜行い, 本個体を得られた2日前にはムラサキシタバが7頭飛来するなどより気象条件に恵まれた夜もあったが, セミナーを通して本種が見られたのは24日の夜の1個体のみであった.

標本を作成したのは筆者で, 標本は現在筆者が保管している.

○参考文献

- 岸田泰則(編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 II, 245. 学習研究社.
- 岡山県, 2010. 岡山県版レッドデータブック 2009 絶滅のおそれのある野生生物 動物編, 228. 岡山県環境文化部自然環境課. <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/sizen/reddatabook/> (2016年11月28日閲覧)

高島昭, 2004. 兵庫県のシタバガ亜科 (兵庫県産蛾類分布資料・30). きべりはむし, 31 (2): 25-43.

(Takurô TOKUHIRA 神戸大学農学部)

兵庫県からキョウトゴキブリを記録

稲畑 憲昭

筆者は、兵庫県未記録のキョウトゴキブリ *Asiablatta kyotensis* (Asahina, 1976) (写真) を採集している。かなり前のことであるがここに報告する。



1♂, 兵庫県川西市笹部, 2002. VII. 15. 筆者採集・保管. 体長17mm.

採集当時、朝比奈 (1991) を読んで兵庫県が分布に入っていないことを知ったが、本書籍出版以降の文献を調べることなく放置していた。最近出版された日本産直翅類図鑑によれば、いまだ兵庫県から記録されていないようである。

ナラ類が豊富な里山林で夜間に樹液に来る昆虫を探していたところ、クヌギかコナラ (どちらの樹種かは記録していなかったため不明) の樹幹に静止している本種を採集した。樹液が出ている部位のそばで採ったと記憶しているが、行動の詳細は記録していなかったため不明である。

○参考文献

朝比奈正二郎, 1991. 日本産ゴキブリ類. 中山書店, 東京. 253pp.

町田龍一郎監修・日本直翅類学会編, 2016. 日本産直翅類標準図鑑. 学研, 東京. 384pp.

(Noriaki INAHATA 京都府京都市)